

新たなステージへ 地域外交

～国内外の関係を牽引する存在に～

令和3年5月24日

地域外交局

新型コロナの影響

2020年～

＜新型コロナウイルスの拡大により、世界各国・地域が
出入国制限を実施し、人的往来は停止＞

海外の入国制限等	・94カ国・地域で 入国制限 ・168カ国・地域で入国後の 行動制限 ※ 令和3年5月14日現在
----------	--

地域外交局

- ・外交の基本である「対面」をストップせざるを得ない状況
→ **これまで培ってきた関係が途切れてしまう「危機」**

全庁で最も早く「オンライン」に着目

ウイズコロナにおけるチャレンジ

＜対面とオンラインの併用による「ツイン外交」＞



コロナ発生直後の昨年4月に
新たな交流手法を先駆的に確立

- ・海外賓客との会談
対面、オンライン 計15回
- ・日韓の若者が交流する
「K-POPカフェ」など

＜「地域外交チャンネル」による情報発信＞



企業、県民に向け海外情報を
リアルタイムで発信

- ・31回実施、計1,200人以上が視聴
- ・企業間のマッチングの萌芽も

2

重点国・地域との交流の深化



4/5 張淑玲 台北駐日経済文化代表処
張横浜分処長 知事表敬



4/15 尹喜燦 駐横浜韓国総領事
知事表敬



2022年 浙江省40周年

3

「現場主義」の徹底

＜海外駐在事務所＞

- ・現地の「こえ」を踏まえた取組を実施

2020年5月、活動に大きな支障を来たしている海外進出企業に向け、「変革期の働き方を考える」をテーマにWEBセミナーを実施 **11カ国・206名が参加**（東南アジア事務所）

＜機動的活動拠点＞

- ・WeWorkの世界的ネットワークを活用した関係づくり

＜現地メディアの活用＞

- ・ブラジル「ニッケイ新聞」で現地日系人の意見を把握（国費）
→ **国、地方自治体が注目**



4

海外活力の取り込み

本県が外国人材受入れの「**ゲートウェイ**」に

令和2年度

＜オンラインタウンミーティング＞

首都圏の外国人からテレワークの実施に向けた課題を調査



令和3年度

＜外国人材テレワーク体験事業＞

移住促進に向け、**外国人を実際に本県に招聘**

＜外国人向けの「移住促進サイト」の開設＞

本県での生活・仕事を英語で発信し、**移住への関心を向上**

5

地域外交の将来像

“スケールフリーネットワーク”

～ 国内外の期待に「**応えられる存在**」に～

これまで築いてきた人的ネットワークを使い、
海外からのオーダーや、国内からの照会に対応

中国、韓国、モンゴル、台湾、東南アジア・インド、米国 など

